

同窓会会報 憩の仲間 第4号

2024年（令和6年）7月30日
発行
天理大学ふるさと会医療学部会

天理大学医療部会までの経緯について



天理大学ふるさと会医療学部会
会長 市村 輝義

今年4月より、「天理大学ふるさと会（同窓会）医療学部会」が正式に発足しました。昨年秋に皆様に「天理大学ふるさと会報」や天理大学ふるさと会支部会から突然郵便物や案内が送られ、戸惑われた方々からの苦情を受け、情報提供の不足を反省しております。ここで、これまでの経緯について概要を再度お知らせします。

1. 各同窓会（天理看護学院、天理医学技術学校、天理医療大学）の統一同窓会への統合

昭和41年（1966年）に「天理よろづ相談所」が開所し、翌昭和42年（1967年）に「天理高等看護学校」と「天理衛生検査技師学校」が開校してから57年が経過しました。前者はその後「天理看護学院」へ、後者は「天理医学技術学校」へと校名を変更し、平成24年（2012年）には、「天理医療大学医療学部」看護学科および臨床検査学科となりました。平成27年（2015年）頃から、天理看護学院同窓会、天理医学技術学校同窓会、そして天理医療大学の三者で、それぞれの同窓会の将来について話し合いが行われました。その結果、それぞれの同窓会を統合して一つの同窓会とすることとなり、新会則、新役員等を定め、令和3年（2021年）10月の設立記念総会を

経て、「天理よろづ相談所学園同窓会」として発足しました。

2. 天理医療大学の天理大学への学部譲渡に伴う同窓会の動き

その後、令和5年（2023年）4月に天理医療大学の医療学部が天理大学に学部譲渡され、「天理大学医療学部」となることが決まりました。これに伴い、「天理よろづ相談所学園同窓会」として、今後の同窓会のあり方を検討した結果、「天理大学ふるさと会（同窓会）」への加入が決定し、2021年11月から両同窓会の打ち合わせ会議を開始し、1年間にわたり6回の会議を行いました。

3. 「天理大学ふるさと会医療学部会」の設立

当時より、「天理大学ふるさと会」では、会則や組織・運営の改革が行われており、「天理よろづ相談所学園同窓会」として「ふるさと会機構改革検討委員会」を5回、「新体制実行委員会」に10回、そして「事務局会議」にも7回出席し、互いの理解と今後についての話し合いを続けました。中でも、これまでの地方支部（約60カ所）のみの組織から、学域部会（学部、学科単位）と職域部会（職業種単位）が追加され、本同窓会を学域部会「医療学部会」として活動することが決定しました。

昨年9月16日に臨時総会を開催し、新会則（規約）、新役員、今後の事業等を提案し、可決され、「天理大学ふるさと会（同窓会）医療部会」（学域部会第1号）として、昨年10月3日付で「ふるさと会」より承認されました。それ以降、「天理よろづ相談所学園同窓会」からの引き継ぎ作業も終わり、本年4月1日より新機構、新役員による「医療学部会」が稼働を開始しました。皆様には、多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

本年3月19日、天理大学の卒業式で、天理大学医療学部として初めての卒業生（102名）が巣立ちました。新卒業生はふるさと会の一員として、また医療学部会のメンバーとして迎えられました。現在の医療学部会の同窓生数は以下の通りです。

<同窓生の概要>（2024年3月31日現在）同窓生総数：5,084名

・天理看護学院：2,822名

（第1看護学科：1,502名、第2看護学科：1,243名、助産学科：77名）

・天理医学技術学校：1,383名

（天理衛生検査技師学校：200名、天理医学技術学校：1,088名、臨床工学専攻科：95名）

・天理医療大学：777名

（看護学科：563名、臨床検査学科：214名）

・天理大学医療学部：102名

（看護学科：73名、臨床検査学科：28名）

祝 医療学部長就任

天理大学医療学部長就任にあたって

天理大学ふるさと会医療学部会員
天理医学技術学校 23期
天理大学医療学部長
小松 方様



同窓生の皆様、こんにちは。天理よろづ相談所学園同窓会が天理大学ふるさと会と合併して早くも2年が経過いたしました。私は天理医学技術学校の第23期生であり、平成4年に同校を卒業し、同年4月に天理よろづ相談所病院の臨床病理部（現在の臨床検査部）に就職しました。以来、微生物検査室に配属され、14年間現場の検査業務に従事しつつ、大阪大学大学院の博士後期課程に社会人として入学し、博士の学位を取得しました。その後、ファルコバイオシステムズ総合研究所検査課の課長職に就任し、ISO15189に準拠した検査室のマネジメントに携わりました。そして平成23年に天理医療大学設立準備室へ着任し、天理医療大学の教員として11年間を経て現在に至り

ます。

天理看護学院、天理医学技術学校、天理医療大学、そして天理大学と、それぞれを卒業した皆さんはふるさと会医療学会に所属する会員となりましたが、母校の名称が消えてこれまでにない名称の同窓会に所属することについては、複雑な思いを抱いているのではないのでしょうか。天理の看護師および臨床検査技師教育は天理よろづ相談所病院開所の翌年である昭和42年からスタートし、来年の天理大学創立100周年の年には58年目を迎えます。この年月は学校名が変わろうとも、「天理スピリッツ」として他校にはない「おぢば」の息がかかった教育が受け継がれています。私は今年の4月から医療学部長に就任しましたが、天理の卒業生の立場として、また現在行っている天理大学医療学部の教員として、58年の「天理スピリッツ」を片時も忘れずに立ち振る舞う所存です。

同窓生の皆様におかれましては、来年の創立100周年を記念して企画を計画しています医療学部と同窓会とのコラボレーションイベントにどうぞお越しいただき、在りし頃の思い出を語り合い、また現在どのような体制で看護師および臨床検査技師教育が行われているのかをぜひともご確認いただければと存じます。皆様、「おぢば」にてお待ちしております。

祝 看護部長就任

天理大学ふるさと会医療学部会員
天理看護学院第二看護学科13期
天理よろづ相談所病院看護部長
鳶川 直子様



会員の皆様、各国々、地域にてお元気にご活躍のことと思います。おぢばは今、例年より遅めの梅雨を迎え、曇り時々雨、そして時々晴れ、といった蒸し暑い日が続いています。私、天理看護学院を1981年に卒業させていただいた鳶川と申します。改めて振り返りますと、天理准看護師養成所時代を含め親元を離れて半世紀をおぢばで過ごさせていただいています。

さて、3年以上に及ぶ新型コロナウイルス感染症も感染症法上5類へと移行され、世の中の行動などは緩和されましたが、天理よろづ相談所病院ではまだまだ感染患者の入院や職員、家族の感染と油断ができない状況は続いております。ただ、この間、初めて経験する困難に医師、看護師だけでなく検査部門、事務部門など各部署の一人一人が役割を自覚し協力し一

ついで乗り越えてきたと感じているのは私だけではないと思います。ほぼ日常の医療を止めることなく対応してまいりました。医療者として様々な制約はございましたが、家族の面会や職員の会議のあり方などを見直す良い機会ともなりました。

また、元日に発生した能登半島地震において被災された方々にお見舞い申し上げるとともに災害現場でご苦勞された皆様の労をおねぎらい申し上げます。当院看護部からもDEMTのメンバーとして、災害支援ナースとしてお手伝いに行かせていただき精一杯努めてきてくれました。

そしてこの夏も開催される「こどもおぢばがえり」で多くの子供たちの笑顔に出会えることを楽しみに救護の準備を始めております。

日々の臨床現場では、先輩から受け継がれた、「笑顔と親切」を第一に関わる皆さんに喜んでいただけるよう研鑽を積んでおります。教育現場でも、天理看護学院から天理医療大学、天理大学と伝統が受け継がれていくと信じております。医療の高度・多様化、個人の価値観の多様化、少子、ひいては看護師を目指す若者の減少、と考えることは尽きませんが、目の前の一つ一つのことを大切にしながら、微力ながらもうしばらく看護ようばくとしてつとめさせていただきたいと思っております。

この会の役員の皆様お世話になります。ありがとうございます。会員皆様のご健康、ご活躍を心からお祈りいたします。

祝 令和5年度秋の叙勲

令和5年度秋の叙勲を受けて

天理大学ふるさと会医療学部会員
天理医学技術学校 14期
福井大学医学部附属病院検査部
元技師長 橋本 儀一様



このところ夏の猛暑や突然の大雨、冬の大雪など天候不順が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。また、昨年から続く石川県能登地方での大地震では、多くの地域に計り知れない被害がもたらされました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。さて、令和5年秋の叙勲に際しまして瑞宝双光章の栄に浴し、昨年11月13日ホテル雅叙園にて叙勲伝達式に出席、その後皇居豊明殿において天皇陛下に拝謁し、お言葉を賜りました。これもひとえに諸先輩方からの長年にわたる心温かいご指導と励ましの賜物と深く感謝いたします。

天医校卒業後の40年間で医学および医療技術や情報伝達技術は飛躍的な発展を遂げ、一般化されてきました。私の臨床検査技師としての経験や研究などもこの発展の一部として寄与できたのでしょうか。令和元年4月には福井大学医学部附属病院検査部の技師長を拝命し、組織を束ねるという役割を任せられ、病院再整備にかかる新検査部のデザインと機器調達、ISO15189認定の取得、診療支援部副部長就任などに加えて、コロナ禍における新たな検体採取とPCR・抗原検査への対応、県との連携など目まぐるしい3年間を過ごし無事に定年退職するに至りました。

今回の式典には妻の敏枝と一緒に出席しましたが、褒章を受章された歌人の俵万智さん、作家の東野圭吾さんなど文化芸術に秀でた方々と同じ時間を共有することができ、二人にとって思い出深いものとなりました。学生時代を含め、40年以上にわたり健康面や精神面で私を支え続けてくれた敏枝には心よりお礼を述べたいとともに、この良き妻との出会いを取り持ってくれた『天理』という地にも深く感謝いたします。最後に、伝達式の挨拶で紫綬褒章受章の俵万智さんが読まれた短歌をご紹介します。

『晴れの日の葉っぱは願うこの国の未来の森に

いやしけ吉事(よごと)』

天理大学創設百周年のコンセプト

— CONNECT 「つながる」を、始めよう。 —

天理大学創立100周年ロゴ

6つの分野、領域での人と人のつながりを積極的にしなやかに紡いでいく陽気ぐらしのタペストリーを縦の糸、横の糸で強固な布となるようにと願いを込め、デザインしたのが100周年のロゴです。



6つの CONNECT 「つながる」

- 世界とつながる 国際教育の先駆者としての伝統を活かす
- 地域社会とつながる グローバルな経験から得たアイデアや知識をローカルに活かす
- 学生同士でつながる 社会課題を解決するパワーの源となる交流を実現する環境づくり
- 学部学科がつながる 学部・学科の協働を通じた学びや研究プロジェクトの実現 等
- 卒業生とつながる 「卒業生 ⇄ 大学 ⇄ 現役学生」の連携の強化 等
- ビジネスとつながる 卒業生ネットワークを活用し、「ビジネスマインド」を学ぶ 等



世界とつながる



地域とつながる



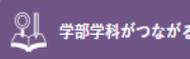
学生同士がつながる



ビジネスとつながる



卒業生とつながる



学部学科がつながる

2025(令和7)年4月23日(水)に陽気ホールで記念式典が行われる予定です。令和7年度中に各学部が企画する事業があり、ふるさと会医療学部会も天理大学医療学部とコラボして催し物を企画中です。

医療学部会会員からの声

天理大学ふるさと会代議員に就任して

天理衛生検査技師学校 5期
天理教本枇杷島分教会長
青木 健裕 様



このたび愛知県代議員という重責をいただき、誠に光栄であります。

私は、昭和46年天理衛生検査技師学校5期生入学で、昭和48年4月より憩の家臨床病理部に配属され10年間緊急検査と脳神経系の検査を受け持ち、当時病院では夜間に緊急検査が必要になると、専門の技師を車で送り迎えして頂き検査結果を出していましたが、2期卒業の市村技師より指導をいただき、男子有志で当直制とし、早く緊急依頼の検査結果を出すことが出来ました。昭和50年天理教ラオス巡回医療隊員

として派遣していただき貴重な体験もさせていただきました。退職後に市村先生よりお誘いを受け、16年間後輩学生の指導に携わる事が出来ました。昭和61年に教会長のお許しをいただき、今も現役で元気で教祖のひながたの道を手本に届きませんが日々喜びと感謝の心で励んでおります。

この度愛知教区長・西先生よりふるさと会愛知支部代議員推薦のお言葉をいただき、承諾させていただきました。新たな医療学部会の県内会員、医学技術学校25名、看護学校60名、医療大学3名の卒業生の名簿をいただき、本年12月15日に開催します天理大学ふるさと会愛知支部総会に向けて、名簿を出来る限りチェックしたいと思っております。

最後に、先日おちばでの第一回定期代議員会に出席して、天理大学が世界に羽ばたく雄大な構想を各教授から聞かせていただき、胸が熱くなるのを感じ取りました。これからも精一杯務め切らせていただきます。

天理看護学院 第二看護学科10期

天理大学医療学部看護学科教授

大田 容子 様

現在、私は天理大学医療学部看護学科の教員として、看護教育に携わっております。

思えば、昭和60年(1985年)4月、母校天理看護学院に専任教員として就任して以来、閉校を迎えるまでの28年間を「看護ようぼく」の育成に尽力できたことは感慨深く、懐かしく思います。以降、兵庫県にある総合大学において看護学部開設にあたり準備室に就任、8年間勤めました。天理で培うことができた看護教育力に誇りをもって取り組むことができたことは、恩師をはじめ関係の方々に感謝の気持ちで一杯です。縁あって、令和4年3月に天理医療大学に赴任することができ、ただただ、おちばで再び看護教育を担うことに胸が躍りました。その1か月後には天理大学に統合され、医療学部看護学科の所属となり、1年生に「看護学概論」を教授できることに喜びを感じています。

憩の家を訪れると多くの卒業生と出会います。管理職を担われ、実習指導者として学生指導に活躍してくれています。医療環境は高度化、複雑化し、ニーズの多様化は業務の遂行を模索せざるを得ない状況ですが、その中においても後輩を育成する姿に伝統が引き継がれていることを感じるのです。オープンキャンパスに参加された保護者が“家族が病院で良い看護を受けて感銘し、子どもを貴大学で学ばせようと考えている”と述べられました。人員不足、多忙な中、患者に看護の心が伝わる実践が継続されていると嬉しくなりました。

専門学校から大学へ、医療大学から天理大学へと変遷をす

る中で、同窓会の在り方も変化を遂げています。専門学校時代の同窓会は1期生の先輩方が先導して下さり、総会には200人以上の参加を得て、先輩後輩の垣根を払い、寮生活も含めた思い出話に花が咲いたことは懐かしい限りですが、このような光景は天理ならではの光景かもしれません。

現在は天理大学の同窓会として『ふるさと会』が存在し、その中に「医療学部会」が位置づけられることとなり、運営システムも変化しています。同窓会の存在を遠くに感じることも否めないのではないのでしょうか。大学での看護教育を経験し、学問としての教育は高度であり、科学的です。しかしながらその根底に引き継がれている伝統は「笑顔と親切」、「患者を尊重する姿勢」であり、「人に尽くす喜び」ではないのでしょうか。同窓生の皆様と確認しあい、発展することにつながることができれば大変喜ばしいことと思います。同窓生の皆様との再会を心から祈念しております。

現在は天理大学の同窓会として『ふるさと会』が存在し、その中に「医療学部会」が位置づけられることとなり、運営システムも変化しています。同窓会の存在を遠くに感じることも否めないのではないのでしょうか。大学での看護教育を経験し、学問としての教育は高度であり、科学的です。しかしながらその根底に引き継がれている伝統は「笑顔と親切」、「患者を尊重する姿勢」であり、「人に尽くす喜び」ではないのでしょうか。同窓生の皆様と確認しあい、発展することにつながることができれば大変喜ばしいことと思います。同窓生の皆様との再会を心から祈念しております。(ご本人のご希望により顔写真はありませぬ)

医療学部会会員からの声

天理大学ふるさと会医療学部会員
天理医療大学 看護学科 6期
天理よろづ相談所病院東病棟
看護師 椎野 祝子様



私は現在、四年目看護師として、天理よろづ相談所病院の循環器内科・消化器内科病棟で働いています。心不全、虚血性心疾患、不整脈、癌患者など多岐にわたる疾患を抱える患者さんを受け持つなかで、日々命を預かる責任を感じています。

学生時代は、勉強に追われていた日々、と言いたいところですが、思い出すのはバイトや友達と遊んでいたことばかりです。一つ頑張っていたとするなら、授業は前の席に座って受けることで

す。先生から意見を求められる機会が多く、集中して授業に臨めるのでおすすめです。

こんな私ですが、今になって勉強の大切さを実感しています。日々患者さんを受け持つなかで、あの時こうしておけばよかったのではないかと、自分より知識のある看護師が受け持っていたら、と思うことがよくあります。だからこそ、勉強して知識をつけたいと思います。特に循環器や心電図、急変対応の勉強が好きで、最近は友達と休日に勉強したりもしています。また、心電図検定受験やメディカルラリーという大会への出場など、少し特殊な目標もあって、その目標に向かって、楽しく先輩や友達と勉強に取り組んでいます。まだまだ未熟ですが、この看護師になら任せられる、そんな看護師になれるよう頑張っていきたいと思います。

「臨床検査技師を目指して歩んだ日々から一転、臨床工学技士として救命に携わる日々へ。」

天理大学ふるさと会医療学部会員
天理医療大学 臨床検査学科 5期
天理よろづ相談所病院臨床工学部
臨床工学技士 北川 貴大様



この度は天理大学ふるさと会医療学部会報「憩の仲間」の会報にお声がけいただき大変嬉しく思います。また、同窓会役員の皆様におかれましても日頃のご活動に心より感謝申し上げます。誠に僭越ではございますが、ご指名いただきましたので書かせていただきます。

改めまして、天理医療大学医療学部臨床検査学科5期卒業生の北川貴大と申します。現在は天理よろづ相談所病院の臨床工学技士として働いております。

私は高校を卒業したのち、臨床検査技師を目指すべく天理医療大学医療学部臨床検査学科に進学いたしました。大学入学当初は、初めて聞く医療専門用語に毎日頭を抱えながら過ごしていたのを覚えています。大学4年間は勉強に追われる毎日ではありましたが、親身にご指導いただいた大学の先生方、休日の息抜きに全力で付き合ってくれた友人、本当に周りの環境に恵まれ、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで大変なことも分かち合いながら、楽しく大学生活を過ごすことができました。天理医療大学に入学してからは「臨床検査技師になる」という目標に向かって日々勉強していく中で、私の心の中には、救急の現場で救命に携わりたいという思いがずっとありました。就職先も救急に力を入れている病院を探している時

期もありました。そして、ある日を境に一転して、臨床工学技士を目指すことになりました。それは進路説明会でした。説明会に来られていた臨床工学技士の方の話聞いた瞬間から、私にはこの道しかないと感じたのを今でも覚えています。臨床工学技士という職種は治療に密接に関わる仕事であり、私が求めていた救急現場に関わる業務も多く、当時の私には輝いて見えました。

病院での臨床実習を終えて、次のステップを就職ではなく進学に切り替えて勉強を進めていきました。クラスの皆が就職して行く中で、本当にこの道に進んで良かったのかと不安や焦りを覚えることも多々ありましたが、無事に臨床検査技師と臨床工学技士の国家試験を合格することができ、今こうして天理の病院で臨床工学技士として働くことが出来て、この道に進んで良かったと実感しております。現在は手術室での人工心肺業務・透析室での透析業務・集中治療室での機器管理業務などに従事しており、その中で、私が以前から携わりたいと思っていた救命の現場を沢山経験させていただきまます。時には救命不可能という場面を経験し、側で泣き崩れるご家族を見て居た堪れない気持ちになることもありましたが、それ以上に救命できた場面を多く経験してきました。一つの失敗が命取りになる責任重大な仕事ではありますが、チーム医療の一員として患者様を救命できた時には喜びとやりがいを強く感じます。私がこの道に進んで良かったと改めて思う瞬間です。

あの時に私が臨床工学技士になろうと思うきっかけを与えてくださった先輩のように、後輩に新たな選択肢を与えられるような人でいれるよう日々精進していくと同時に、一人でも多くの救命のお役に立てるよう尽力いたします。

天理大学ふるさと会医療学部会役員の紹介

医療学部会 会長
天理医学技術学校部門
市村 輝義
天理衛生検査技師学校 2期



「天理大学ふるさと会医療学部会」は、昨年9月の設立総会で承認され、本年4月より本格稼働を開始いたしました。「天理よろづ相談所学園同窓会」に引き続き、会長職を務めさせていただきます。また、「天理大学ふるさと会（同窓会）」副会長も兼任させていただいています。

本年4月からは「天理大学ふるさと会」も新しい会則、組織、運営体制に一新され、新たなスタートを切りました。「医療学部会」も同様に4月より本格的に稼働を開始しました。今期の大きな課題は、本年度に「ふるさと会創立90周年」を迎えること、そして来年度には「天理大学創立100周年」の節目を迎えることです。新入会の「医療学部会」会員にとって、天理大学や天理大学同窓会（ふるさと会）の歴史を認識し、自覚する良い機会となることと思います。これからは天理大学が我々の母校として位置づけられることを期待しています。「ふるさと会」の中での活動を見守りいただき、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医療学部会 幹事長
天理医学技術学校部門
畑中 徳子
天理医学技術学校 14期



この度、天理大学ふるさと会医療学部会の幹事長を拝命しました畑中徳子です。私は天理医学技術学校を卒業（14期生）し、天理よろづ相談所病院臨床検査部に30年余り勤めた後、天理医療大学の教員となりました。今年は大学に来て早8年目を迎えます。

大学は天理大学との合併を終え、同窓会も天理大学ふるさと会の一部会として新たなスタートを切りました。現在、私は天理大学医療学部臨床検査学科主任を務めており、来年100周年を迎える天理大学の記念行事の企画にも携わっています。100周年記念行事では、同窓会の皆様が楽しく集える場をより多く提供できたらと思っています。同窓会役員は初めてのことで戸惑うことも多いですが、同窓会と大学の架け橋としてのお役目を少しでも果たせるよう尽力して参ります。ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

医療学部会 副部長
天理看護学院部門
清水 あい子
天理看護学院 第二看護学科 21期



この度天理大学ふるさと会医療学部会、副部長を務めさせて頂く事になりました。現在は天理西長柄に、ベストラボ。訪問看護ステーションを立ち上げ、在宅医療の支援、サポートさせて頂く事に奮闘中です。同窓会役員としてお役にたてる事は少ないかもしれませんが、少しでも良い活動のお手伝いができるように頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

医療学部会 会計
天理医学技術学校部門
植東 ゆみ
天理医学技術学校 26期



この度、天理大学ふるさと会医療学部会の会計を務めさせていただくことになりました。現在は天理よろづ相談所病院の腹部超音波室で勤務しています。

昨年度、天理医学技術学校同窓部会の部会役員を担当させていただきましたが、新体制での活動で、さらに多くの方々の絆を深められるように精一杯頑張りたいと思います。

皆様も天理大学ふるさと会医療学部会の活動に関心を寄せていただけたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療学部会 副部長
天理医療大学部門
田村 早紀
天理医療大学 臨床検査学科 3期



この度、天理大学ふるさと会医療学部会の副部長を務めさせていただくことになりました、天理医療大学 臨床検査学科3期生の田村早紀と申します。現在、天理よろづ相談所病院 臨床検査部で勤務させていただいております。今年度から正式に天理大学ふるさと会 医療学部会として稼働となり、若輩者ではございますが、少しでも同窓会の発展のためにお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

医療学部会 幹事（看護部門長）
天理看護学院部門
小沼 真佐代
天理看護学院 第二看護学科 21期



この度、天理大学ふるさと会 医療学部会の役員と天理大学ふるさと会女性委員会役員を務めさせて頂くことになりました、天理看護学院卒業生の小沼真佐代と申します。現在、天理よろづ相談所病院に勤務しております。

天理大学ふるさと会では、記念行事のお手伝いなどしております。今後、微力ながら天理大学ふるさと会の同窓会活動に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

医療学部会 幹事(医技校部門長)
天理医学技術学校部門
木寺 英明
天理医学技術学校 9期



2012年4月から天理医学技術学校同窓会の副会長に就任して以来、現在まで役員として同窓会活動に携わってきました。その間の大きな変動については、「一手一つ」並びに「憩の仲間」の掲載記事の中でお伝えしてきました。今年の4月より新役員として新たなメンバーが加わり、天理大学ふるさと会の事業にも参加して同窓会活動の継続に努力しております。

今は新しい環境に慣れて、次の世代の方々に引き継ぐことが自分の使命だと感じて頑張っております。

医療学部会 幹事(大学部門長)
天理医療大学部門
矢谷 祥代
天理医療大学 看護学科 6期



この度、天理大学ふるさと会医療学部会の大学部門長、会友支援委員を担当させて頂くことになりました、天理医療大学看護学科6期生の矢谷祥代です。現在は看護師として天理よろづ相談所病院に勤めています。このような役員の経験がなく、未熟な点多々ありますが、役員の方々とともに頑張りたいと思います。同窓生皆様のお役に立てるように精一杯に努めてまいりますので、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

医療学部会 幹事(事務局補佐)
天理看護学院部門
高田 幸恵
天理看護学院 第一看護学科 3期



この度、監事を担当させて頂くことになりました。現在は、天理よろづ相談所病院 内視鏡センターで勤務させて頂いております。同窓会が、天理大学ふるさと会と合併し、規模が大きすぎて戸惑っているのが正直なところです。微力ではありますが、看護学科の卒業生と協力して、少しでも役に立てよう務めさせて頂きたく思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

医療学部会 幹事(事務局補佐)
天理医療大学部門
山崎 健太
天理医療大学 臨床検査学科 4期



今年度より天理医療学部会の役員を務めさせて頂くこととなりました。よろしくお願いいたします。私は天理医療大学の4期生になります。現在は、天理よろづ相談所病院へ入職し、今年で6年目になります。主な業務内容としては、血液検査ならびに輸血検査を中心に行なっています。

医療学部会では、主にホームページ管理などを担当させて頂いております。まだまだ未熟ではありますが、少しでもお力になれるよう頑張る所存であります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

医療学部会 監査
天理看護学院部門
小笠原 芳恵
天理看護学院 第一看護学科 4期



この度、医療学部同窓会役員を拝命いたしました。天理看護学院一科4期生として卒業し、もう数十年憩いの家に勤務しております。昨年より活動を開始しておりますが、先輩役員の方々に教えていただきながら、役不足だと自覚する日々であります。現在コロナ禍を脱しながらも、活動を再開するには少し勇気のある医療職ですが、同窓生の皆様とともに考え、有意義な活動ができるように、微力ながら尽力して参りたいと存じます。お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

医療学部会 監査
天理医療大学部門
山村 信也
天理医療大学 臨床検査学科 7期



この度、天理大学ふるさと会医療学部会の監査を務めさせて頂くことになりました、天理医療大学医療学部臨床検査学科7期生の山村信也と申します。現在は天理よろづ相談所病院にて検査技師として勤めており、主に一般検査を担当しています。今までの天理よろづ相談所学園同窓会から変わり、天理大学ふるさと会として活動していくこととなりますが、様々な方とのかかわりを通して成長し、少しでもふるさと会の発展のお役に立てればと思っております。よろしくお願い申し上げます。

医療学協会 大学部門オブザーバー
天理医療大学部門
茶木 善成
天理医療大学 臨床検査学科 1期



天理よろづ相談所医学研究所で造血器腫瘍の検査(フローサイトメトリー、遺伝子)を専門に勤務しています。私は2016年に天理医療大学を卒業後、天理医療大学同窓会の開設、前身校と統合された天理よろづ相談所学園同窓会の開設、天理大学ふるさ

と会(同窓会)への移管と我々の学域部会である医療学協会の開設まで、長年にわたり同窓会に関わらせていただきました。およそ10年にわたって同窓会組織の変遷が続き、会員の皆様には戸惑いをご心配をおかけしているかもしれません。

会活動についても時代とともに変わりつつありますが、昔を懐かしみ今を語り合い、会員の皆様にとって心の拠り所となる同窓会になれるよう頑張っていきたいと思います。皆様のご理解とお力添えのほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

天理大学ふるさと会本部での医療学協会役員の活動

市村輝義(副会長)、清水あい子(総務委員)、田村早紀(代議員)、畑中徳子(組織委員)、植東ゆみ(財務委員)、小沼真佐代(女性委員)、木寺英明(広報委員)、矢谷祥代(会友支援委員)、高田幸恵(代議員)、山崎健太(情報委員)、小笠原芳恵(役員選考委員)、山村信也(代議員)、茶木善成(代議員)

名簿管理システムへの登録の方法

同窓会員への情報提供や求人情報掲載など同窓会活動を円滑かつ簡略に運営するため、「名簿管理システム」への登録をお願いします。登録をすることによって、ホームページの「マイページ」から、医療学協会報誌『憩の仲間』(年1回発行)や天理医療大学、天理看護学院および天理医学技術学校同窓会の過去の会報誌も全て閲覧可能です。また、同窓会会員間における求人情報掲示板を利用して求人も可能です。同窓会員のご勤務されている施設で「天理の卒業生に就職してほしい」などの要望がありましたら是非ご利用下さい。

【登録手順】

1) 天理大学ふるさと会医療学協会ホームページ(アドレス上記)にアクセスする。GoogleやYahooサイトで「天理大学ふるさと会医療学協会」と検索していただいてもヒットする。

2) 右赤丸部分の「ログイン」をクリック。

3) 右の画面が表示されたら下記BASIC認証を入力。

このBASIC認証は随時要求されますので、必ずお控えください。

ユーザー名:tenri

パスワード:tenrialumni2021

※このユーザー名およびパスワードは、関係者以外、絶対漏洩のないようにお願いいたします。

4) 右画面「新規登録」からE-mailアドレスおよびパスワードを設定し、登録する。

なお、パスワードをお忘れの方は下記「パスワードをお忘れの方」をクリックいただき、パスワードの再設定をお願いします。



編集後記

令和6年度の『憩の仲間』第4号が無事に発行されました。医療学協会会員の中で、各分野における長年の功績が認められ、その職業の先頭に立って我々会員を導いて下さる方が現れたことです。会員としてこれ程力強い存在はありません。また、4月より新しいメンバーが加わり医療学協会役員会が立ち上がり、慣れないことでも積極的に関わりを持ち、自分の与えられた責任を全うしようとする意欲が感じられます。その新役員を顔写真と挨拶文で紹介しています。今後ともよろしくお願いたします。最後に、まだ名簿管理システムへの登録を済まされていない方は、是非登録をお願いいたします。(木寺)